

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第33週 (8/12-8/18) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		33週	32週	31週	30週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	15	18	18
	眼科	5	4	5	5
	インフルエンザ*	28	22	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	8/12-8/18	8/5-8/11	7/29-8/4	7/22-7/28	8/5-8/11
			33週	32週	31週	30週	32週
小児科	RSウイルス感染症	↓	16 0.89	20 1.33	33 1.83	28 1.56	219 1.71
	咽頭結膜熱		4 0.22	4 0.27	11 0.61	7 0.39	29 0.23
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5 0.28	19 1.27	15 0.83	22 1.22	212 1.66
	感染性胃腸炎		27 1.50	30 2.00	70 3.89	96 5.33	308 2.41
	水痘		2 0.11	3 0.20	14 0.78	2 0.11	36 0.28
	手足口病	↓ ↓	34 1.89	159 10.60	245 13.61	353 19.61	774 6.05
	伝染性紅斑		5 0.28	12 0.80	17 0.94	15 0.83	74 0.58
	突発性発しん		5 0.28	13 0.87	9 0.50	8 0.44	59 0.46
	ヘルパンギーナ		6 0.33	11 0.73	34 1.89	37 2.06	198 1.55
	流行性耳下腺炎		1 0.06	1 0.07	1 0.06	2 0.11	11 0.09
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		1 0.04	0 0.00	0 0.00	0 0.00	18 0.09
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		5 1.00	7 1.75	5 1.00	1 0.20	23 0.77
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.22
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(9件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	10歳代	IGRA検査	急性脳炎	男性	10歳未満	意識障害及び高熱
結核	女性	70歳代	臨床診断	百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
結核	女性	90歳代	病原体の分離・同定	百日咳	女性	10歳代	抗体の検出
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	80歳代	病原体の分離・同定、 薬剤耐性の確認及び 起因菌の判定	風しん	男性	40歳代	病原体遺伝子の検出
				風しん	女性	20歳代	病原体遺伝子の検出

・第33週は、結核3件(121)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(8)、急性脳炎1件(9)、百日咳2件(99)、風しん2件(44)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

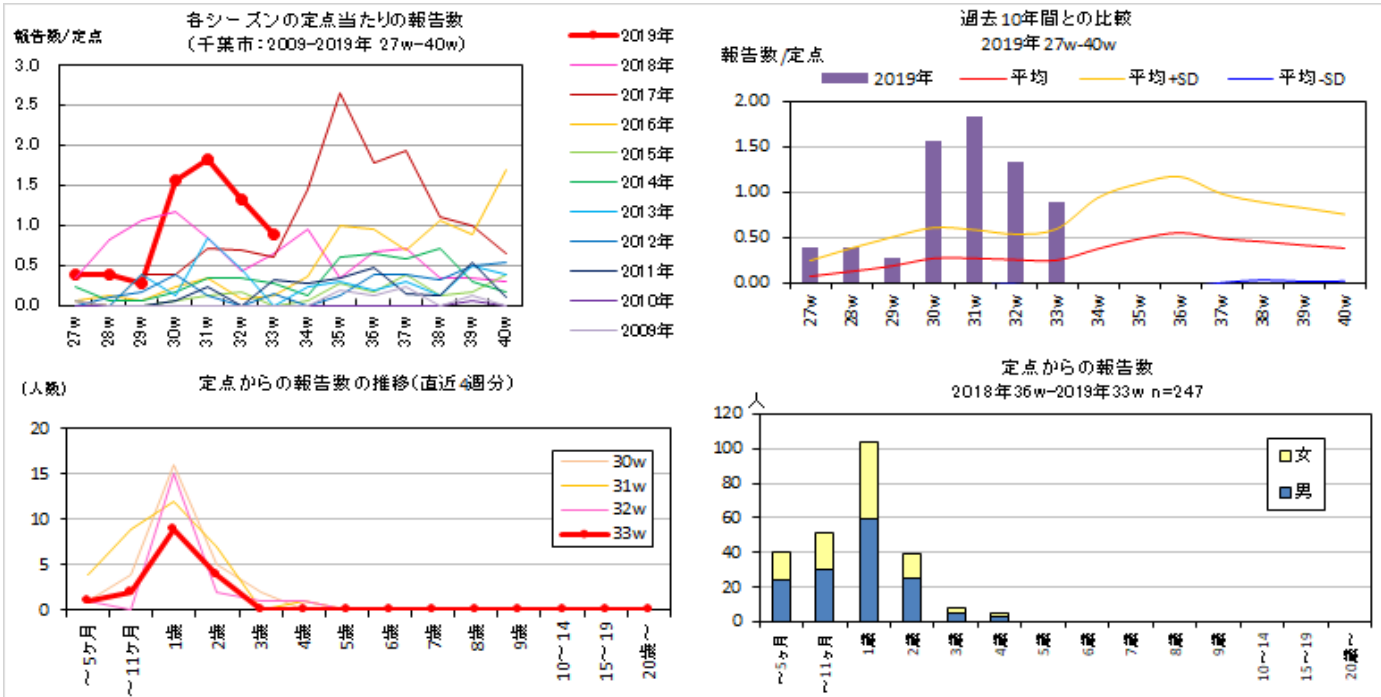
定点当たり報告数 第33週のコメント

<RSウイルス感染症> 前週より減少し0.89となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。
<手足口病> 前週より大幅に減少し1.89となり、流行発生警報開始基準値及び流行発生警報終息基準値を下回った。

■ トピック ■

<RSウイルス感染症>

全国レベルの第32週の定点当たりの報告数は1.67となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では宮崎県、福島県、山形県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は1.72で、全国レベルとほぼ同等レベルとなっています。千葉市の第33週は前週より更に減少し0.89となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままとなっています。区別の発生状況は、美浜区(2.00/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第33週までの累積報告数は247件で、性別では男性が59.1%(146名)、女性が40.9%(101名)となっており、年齢階級別では1歳(42.1%:104名)、6-11か月(20.6%:51名)、0-5か月(16.2%:40名)の順で多くなっています。



<風しん>

全国レベルの第32週の発生届累積数は2079件で、昨年の同時期と比べるとおよそ15倍となっています。都道府県別では、東京都、神奈川県、千葉県の順で多く報告されており、関東地方で多くなっています。千葉市では第33週に2件の発生届があり、2019年の累積数は44件となりました。性別では男性が77.3%(34名)、女性が22.7%(10名)となっており、年齢階級別では30歳代及び40歳代(共に31.8%:14名)、20歳代(15.9%:7名)の順で多く、30歳代~40歳代の男性が中心となっています。ワクチン接種歴は、無し又は不明が全体の8割以上を占めています。

